



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年12月17日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

大病を乗り越え 俳優・佐野史郎さん 12月17日(日)＝1、3面

迫る



俳優の佐野史郎さん(68)＝写真＝は、血液のがんの一種、多発性骨髄腫を患いました。2021年のことでした。入院当初は改善の兆しを見せていましたが、細菌に感染して敗血症になってしまいました。高熱が続いた時期があり「一時、死を覚悟しました」と明かします。

闘病生活は病院の個室。小さなギターを持ち込んで、ミュージシャンでもある佐野さんは新曲をつくりました。タイトルは「まどのそと」。

病室の外に出られない気持ちを込めた曲で、歌詞には「ふわりふわふわ」とあります。「病室にいた自分の状態を表現したのかもしれない」と語りました。

大病を乗り越え、復帰。23日から「新宿K's cinema」(東京都新宿区)を皮切りに全国で上映される映画「火だるま槐多(かいた)よ」にも出演しました。役柄を演じる上で大事にしていることは？

ベテラン俳優の視線に迫ります。



台湾総統選と中台関係 12月17日(日)＝総合面



台湾総統選に立候補している(左から)国民党の侯友宜、民進黨の賴清徳、台湾民衆党の柯文哲の各氏＝福岡静哉、岡村崇撮影

台湾総統選は来年1月13日の投開票まで1カ月を切りました。台湾を巡っては、自国の一部だとして武力統一を否定しない中国が軍事面で圧力を強め、「台湾有事」の可能性が取り沙汰されています。東アジア全体の安全保障にも影響を与えるこの選挙で、台湾の人たちはどのような点を重視して1票を投じようとしているのでしょうか。



論点 クマにどう対処すれば

12月22日(金)オピニオン面

クマの被害が全国で相次いでいます。環境省によると、クマに襲われてけがをするなど被害を受けた人は、11月末の暫定値で212人に上ります。過去に最も多かった3年前の158人を、すでに大きく上回っています。

被害は冬眠に入る12月に多くなるとも言われています。なぜ、クマの被害が増えたのでしょうか。どうも秘策もあるようです。人間の生活の変化や気候変動の影響など、さまざまな視点から考えます。

特集 Wide

ああ、永田町 12月19日(火)＝夕刊2面

森功さん、裏金疑惑捜査を語る

自民党派閥の政治資金パーティーを巡る問題で東京地検特捜部が捜査に本腰を入れる中、「いま安倍派が標的になっているように見えますが、それは安倍1強時代のゆがみを軌道修正しようとしているのではないでしょ

うか」と語るのがノンフィクション作家の森功さん＝写真＝です。

「悪だくみ」「官邸官僚」といった自著の中で安倍晋三政権と特捜検察の緊張関係を描いてきた森さんにインタビューしました。



今年にはプラネタリウム誕生100年。実は毎日新聞社にも、空襲で焼失するまでプラネタリウムがありました。そこで27日に「プラネタリウムと宇宙の魅力」についてのオンラインイベントを開催します。小学生新聞「的川博士の銀河教室」から宇宙航空研究開発機構(JAXA)の的川泰宣・名誉教授が登壇し、大みそかに見える星座も紹介してくれそうです。QRからどうぞ。(石原聖)

竹橋の窓辺から

編集後記

